

# 里づくりせきもと



発行：せきもとさとづくり推進協議会

## 堰本地区の皆さんに支えられて

JAふくしま未来堰本支店長 田中 裕

JAふくしま未来は、県北地域と相

馬地域の12市町村をエリアとする農協です。管内の面積は福島県全体の約19%を占めています。

伊達地区は、献上桃の郷の桑折町があるようにモモの栽培が盛んです。また、福島県ブランド認証商品のあるぽ柿を生産する産地としても知られています。また、キュウリやニラは管内トップの生産量を誇ります。

その中でも堰本地区は主要作物であるキュウリ、あんぽ柿、桃を含めた昨年の総販売高は、伊達地区上位となる4億1千8百万と素晴らしい実績となっています。

現在、堰本支店では、私をはじめ、係長、窓口5人、L A (ライフアドバイザー) 2人、営農指導員の計10人で日々業務に取り組んでいます。

また、8月31日までナットクキャンペーンを実施中です。ご契約いただいたお客様には素敵なプレゼントを呈呈しております。是非お気軽に来店ください！お待ちしております。

## ワンポイント職員紹介

田中支店長…白髪が多いが実は若い  
幕田係長…JAのくまモン  
橘さん…窓口の天然系アイドル  
大橋さん…クールビューティー  
畠さん…真つ赤な愛車です！  
高橋さん…運転は初心者級だが自動車共済担当

山田さん…マスクの中身も可愛い  
熊坂さん…20センチ身長が欲しい  
安藤さん…いつもお腹が痛い…  
橋本指導員…困った顔が可愛い  
今後ともJAふくしま未来堰本支店をよろしく願います。



前列左から幕田係長、熊坂さん、田中支店長、安藤さん、橋本指導員、後列左から橘さん、高橋さん、大橋さん、山田さん、畠さん。

## 【堰本の話題を広報で！】

広報委員長 本多祐一 (大門町内会)

せきもとさとづくり推進協議会の会議に出席し、広報委員に名前があり、『これは困った！』と思いました。新聞社に40年以上勤務していますが、編集部門に籍を置いたことは一度もなく、ほとんどが管理部門で労務問題などの裏方の仕事をしているからです。

編集に関わったことは、小学5年生の社会科の授業で「新聞の出来るまで」について出前講座の講師をしたくらいです。電話のない時代に記者は背中にかごを背負ってかごの中に伝書バトを入れ、現場で書いた原稿をハトが会社まで運んだことや新聞のカラーは黒、青、黄、赤の4色の組み合わせ、4コママンガの秘密などの説明をしました。県内の小学校を5年間で175校訪問しましたが、それも10年以上前の話です。

広報委員になってからは、会社の編集の人間を捕まえては紙面作りのレクチャーを受けるように心がけています。この機会に「せきもと」の事を一から勉強しながら人脈作りと「せきもと」の一助になれるよう頑張ります。

みなさんからも広報紙に取り上げるような行事や出来事をお寄せいただくようお願いいたします。

## 編集後記

【編集委員のこと】

(S)

「毎日忙しい」とぼやいた時、「忙しいという字は心をなくすと書くのだ」と夫に言われたことを思い出します。忙しいことを口実にしてはダメなんだよね。わかってるよ。

(H) 表紙の写真どこかない？と大関の方に聞いたら「上原遊園地」綺麗だよと教えていただきました。新たな堰本発見！人との和・地域の輪、大切にすね。

(R) 世界中新型コロナ異常気象で大混乱！でも雑草はいつものように大旺盛！どちらか一発で消える特效薬が欲しいですね！

(kazu)

異常気象が多すぎます。先日大雨の際、当交流館が避難所開設となり5名の方が非難されました。防災マップが完成できてよかったです。

表紙写真は、大関・上原遊園地の紫陽花の競演。梅雨が長かったせいもあり、色とりどりに咲き誇っていました。

# 活動報告

## ● 交流館周辺の除草作業について

堰本地区交流館周辺の除草作業は、地区内の各種団体が毎月交代で実施しています。秋以降は、内部の清掃などを中心に実施しています。今年度も実施計画のとおり各団体に協力をいただいで周辺の駐車場や土手を綺麗に草刈りを行っています。

## 令和2年度実施計画

月	実施団体名
6月	堰本体育協会
7月	防犯協会堰本支部 堰本小学校 PTA
8月	せきもとさとづくり推進協議会
9月	交通安全協会堰本分会
10月	伊達市消防団梁川支団第3分団
11月	堰本地区青少年育成推進協議会
12月	堰本地区社会福祉協議会
1月	堰本郷土史研究会



交流館周辺の草刈りと同時に生垣の手入れも実施しました

## ● 花いっぱい運動を実施しました

6月7日、堰本小学校西側道路際と、大関の県道旧道入り口、新田ふれあいセンターなどの花壇にマリーゴールド、サルビアの花苗各1,500本をさとづくり推進協議会理事の方々に植え付けしました。

花苗は、県道を中心に道路沿いの美化活動として、県土木事務所からいただいで、各地の花壇・道路沿いに地域ボランティアとして毎年実施されています。大関地区では16人、新田駅では6人、ローソン前交差点では5人、小学校前では17人が作業にかかり、最後に水やりをしました。



## 堰本女性セミナー

### 開校式と顔合わせを行いました

6月16日、堰本女性セミナーの開校式を堰本地区交流館大研修室で行い、受講生22人が参加しました。初めに渋谷会長・末永生涯学習部会長が、続いて伊達市の生涯学習指導員の斎藤敏郎さんがあいさつしました。年間学習計画を確認し、今年度受講生の顔合わせとして自己紹介をしました。前任担当の菅野幸子さんから今年度は佐藤恵津子さん（鈴竹町内会）が担当します。

### 学習「簡単な手話を覚えましょう」

7月21日、セミナーの第2回目、今回は「簡単な手話を覚えましょう」をテーマに市福祉事務所職員と手話を母語としている方の方を講師に、手話の学習を行いました。

1、手話ってなに？ 2、ろう者って？ 3、困ることは？ 4、どうしたらいい？ との疑問にわかりやすく手話通訳をいれながらの学習でした。

外見からは耳が聞こえないことがわからず、災害時に広報されても聞こえず逃げ遅れたとか、避難所で食べ物の配給がわからず、もらえなかった、とかいろいろな苦労がわかりました。そして伝えるにはジェスチャーや、筆談・口語・空書などで、相手の正面で視線を合わせてなど学んだ後、あいさつや簡単な意思表示の手話を覚えて、「四季の歌」を手話でうたいました。

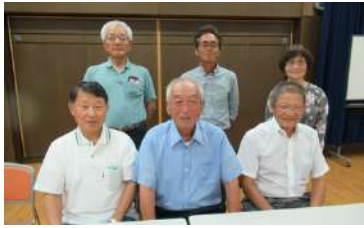


# せきもとさとづくり

※具体的事業は、予定している内容ですが、今年度は特に新型コロナウイルス感染防止のため、事業の実施等は個々に判断していきます。

## 三役・事務局

事業：地域の拠点となる地区交流館維持管理・運営に関する事業



会長	渋谷 基昌	事務局長	小賀坂光義
		事務局次長	鈴木 一之
副会長	菅野 吉	事務局員	菅野 幸子
	佐藤 英吉		三浦 裕子
	末永 明		小賀坂ロク

地域振興部会	
部会長	佐藤 英吉
寺島 幸男(間野)	菅野 茂(中ノ内)
幕田 栄吉(東前)	佐藤 富蔵(荒野)
津田 茂(入ノ内)	佐藤賢一(浅間)
橘 典雄(町通)	

地域安全・健康福祉部会	
部会長	菅野 吉
八巻 忠雄(中沢)	渡辺浩一(東木田)
佐藤 賢一(鈴竹)	渡辺 憲雄(陽光台)
大橋 重男(原)	大友 一浩(上原)
霜山 茂(陽光台)	

## 地域振興部会 部会長 佐藤英吉副会長

★事業：地域の特性を生かし、地域発展に寄与する地域振興事業

★具体的事業：グラウンドゴルフ大会、里づくり標語（堰小児童）看板作成、せきもと太鼓クラブの創設、防火水槽塗装（環境美化）、堰本文化祭（11月）、愛宕から笠石周辺整備、花いっぱい運動（6月、9月）



## 女性部会

部会長 原田みよ子（大正寺） 副部会長 菅野かづ江（中ノ内）

せきもとさとづくり推進協議会の女性組織として各町内会から女性委員の選出をお願いしてきました。すべての町内会からの選出はできませんでしたが、7月10日に第1回女性組織の会議を開催し、部会長・副部会長の選出、事業活動計画について協議しました。

★事業：生涯学習に関する事業

★具体的事業：花いっぱい運動、資源再利用に向けた廃品回収、梁川踊り流し参加（今年中止）、各部会への協力



5月30日、堰本地区交流館大研修室において今年度第1回理事会を開催し、せきもとさとづくり推進協議会組織体制の確認、事業計画を協議しました。

はじめに、渋谷基昌会長から「今年度総会は新型コロナウイルスの影響で書面表決となり、緊急事態は解除されたものの、まだ収束見通しは厳しく、感染防止に配慮しながら事業を行っていききたい。さとづくりの中心となるのが組織体制での部会であり、皆さんの協力により進められる。本日は部会での協議を中心に行っていききたい。」と話し、役員及び理事紹介の後協議に入り、小賀坂光義事務局長が①令和2年度組織体制、②令和2年度事業計画について説明しました。

その後、地域振興部会、地域安全・健康福祉部会、生涯学習部会、広報委員会の4つの分科会を行い、活発な意見交換がなされました。

〜いただく〜



洞雲寺住職  
柳澤智蓮

医師である知人が言った。「ウィルスは生きのびるために変異を繰り返す、その多くは消えていくが、新型コロナウイルスはまたま強い生命力をもって完成したのだ」と。セリフがあるとすれば、

●新型コロナ  
「それ行け〜！大成功だ〜！」「ヒトの中は一番居心地がいいぞ〜！」「ぼやぼやしないで唾液の飛沫と一緒に飛べ〜！」

●ヒト  
「マスクをしろー！」「検査だー！」「人と距離をとれー！」「外に出るなー！」「集まりは中止だー！」

●地球  
「私の表面ではまた新しいウィルスが発生したようだぞ」「どうやらヒトの動きが少し静まったぞ」「私の呼吸は少し楽なような気がする」

不謹慎かもしれないが、それぞれの立場になって想像してみる。  
夕方の散歩に出かけ、小高いあぜ道から一面に見える恵みの大地、燃えながら山の向こうに落ちようとすると今日最後の太陽を眺める。ゆったりと流れ

る雲を見上げながら深呼吸をする。そして、ああ、ここに生きさせていたでいるのだと手を合わせる。  
この偉大なる自然の中で、我々ヒトは新参者なのだ実感する。(46億年前の地球誕生から現在までを一年と換算すると、人類誕生は12月31日の夜10時過ぎだそうだ。)

参学の師であるA老師が説いてくださる中で、「えり好みせずすべて頂く」という言葉が印象に強い。食いしん坊の私は「遠慮せずお腹いっぱい食べていいのだな？」などと想像したりしたが(笑)、到底そんなことであるわけがなく、「身の上で起こるすべてのことを全部頂く気持ちで過ごすことが仏道であり、日常のひとつひとつが悟りとなる。」ということである。

日常のあるがままを、好き嫌い言わずに受け入れるというのは、ことによっては容易ではない。

それでもいつも心に置いて 調子のいい時も都合のよくない時も「ここでどうするか」を自分に問うていきたいものである。



じいちゃんランナーで



橘内善和さん  
会社員/農業  
大関間野地区在住

私が走るようになったのは、今から20数年前の堰本地区運動会での町内対抗リレーで転倒したのがきっかけでした。それまで足には少々自信があったのでシヨックでした。そして、その頃は息子が幼稚園に入る前年、運動会で「○○ちゃんのお父さんが遅くて負けたじゃないか」と言われたら、息子がかわいそうだと思っただけが始まりでした。

最初は、大門までの往復がやっとだったので、回を重ね距離を徐々に増やして行きました。同時に恥ずかしさも「影猫ランナー」でした。そんな時ある人から伊達郡一周駅伝にピンチヒッターで擲(たすき)を繋いでと頼まれて、初めて梁川工業団地から国見ガスマまで走り、そこからスイッチが入り、町内一周駅伝、伊達郡一周駅伝、弥平杯、保原ももの里、あづま荒川ク口カン(クロスカントリー)等に参加するようになっていきました。

初めは「外間(ゲーブン)わりがら。走る暇あつこつた仕事しろ!!」と常々言っていたお袋も応援に来るようになっていって、いつしかマラソンで家族の輪が大きくなったと思います。

会社では、ここ5年位、もの里マラソンに工場長以下15名ほど参加しています。最高齢の身ではありませんが、社内ではダントツ(早い)です。今年は大大会が中止で残念です。

また、今までで嬉しかったのは、町内一周駅伝に堰本チームで息子と一緒に参加し、息子から擲を受け取り、表彰式の時、親子で区間賞を取った時です。会場内が「親子で区間賞取った!」とどよめいた時は、嬉しさと恥ずかしさで一杯だったことを覚えています。昨年のももの里では、親子の部に、最後だからと親子風で、孫と二人で走れたので、これはなかなか出来ることではないと自負しています。

最初は息子のためと思って走り始めましたが、今は自分の体力維持と、足腰が弱らないように頑張っているんです。幸いにも走っている人は、膝が痛いとか腰が痛いとか言っている人を殆ど聞いていません。私も今年60歳です。今年1歳になった孫娘が親子の部に参加できる年齢になった時に、再び親子(?)の部と一緒に走れば最高かなと思っています。

最後に、自分の目標として70歳まで走りたいと思っています。お袋には「今度こそはしようしい(恥ずかしい)から辞める!」と言われるかな。でも、足から衰えたくないし、走った後で飲むビールがうまいので、頑張っておとつあんランナー!いや、「じいちゃんランナー」として走り続けたいと思います。

地域の方々紹介

昆虫博士とモリアオガエル



三田村敏正さん  
陽光台在住  
元県職員

私は仕事、プライベートともに昆虫の調査、研究を行っている関係で春から夏にかけては、県内各地で開催される昆虫観察会に呼ばれることが多くなります。観察会では、子どもたちのきらきらした目の輝きと満面の笑顔にいつも癒やされていますが、それだけでなく、新たな発見も多いのです。

昨年(2019年)、霊山こどもの村で開催された昆虫観察会のこと。この観察会は、東日本大震災以降は中断されており、9年振りの開催でした。園内のイモリやミズカマキリなどがある人工池に行ってみると、池に張り出した木の枝にモリアオガエルの大きな白い卵塊が付いていたのです。何回もこの池に来ていますが、モリアオガエルの卵を見つけたのは初めてです。子どもたちと近づいてみました。すると、「あつ、カエルがいる!」という子どもの声。緑色の大きなモリアオガエルです。さらに緑と黒の斑模様のカエルもいました。モリアオガエルは山の中の沼に多く、この

ように身近なところで見られることは少ないのです。どうやら、震災後、池周辺は立ち入り禁止となり整備されなかったため、枝が池の水面にまで張りだして、モリアオガエルの産卵に適した環境となったためなのでしょう。

それでは、伊達市内ではどこでモリアオガエルが確認されているのでしょうか?調べてみると、桑折町の半田山や霊山の東側の相馬市では確認されていますが、伊達市ではこどもの村が初めてであることがわかったのです。こどもの村のモリアオガエルは、今年の観察会でも確認できました。このことは、新聞でも面白い話題として取り上げられ、さらに、これが縁でこどもの村では9月27日までカエルの写真展も開催されることになりました。カエルの研究者によると、モリアオガエルは近年、生息場所を広げているとのこと。ひよつとしたら、堰本にもやってきているかもしれませんよ。

モリアオガエル卵塊



わかるかな? 緑色のカエル



いろんなことにチャレンジ



鈴木義英さん  
造園業  
細谷入ノ内地区在住

竿がしなる手応え!引き寄せ釣り上げていく:

今日は大物!魚がかかって引き上げ、顔(魚のです)が見えた時の釣りの醍醐味は格別です。趣味の釣りは暇さえあれば出かけています。1日中やっていても飽きもせず過ごせます。もう病みつきですね(笑)獲った魚は自分ではあまり食わず、知り合いに食べてもらっています。

また、仕事で出た粉砕したチップを使いカブトムシを育てています。木くずの再利用・再活用も含め孵化したカブトムシを幼稚園児や児童たちにあげるのも楽しみです。

そうは言っても仕事は生業としてではなくてはなりません。職業は造園業で、主に福島学院大学の構内の庭の手入れを行っています。

5年前から妻の父親が経営していた「古川園材」で修業し、現在は代表者となり、義父と一緒に仕事をこなしています。主に、福島学院大学の樹木や庭の手入れを一手に引き受け、年間通して整備しています。構内は樹高のある木々も多く、高所作業車を使用しな

がら剪定作業を順次進めています。以前はトラックの運転手として働いていましたが、妻との付き合いがきっかけで現在の仕事をするようになりました。

私は、生まれも育ちも細谷入ノ内で、妻、中学生の子ども1人、父母との5人暮らしです。仕事をする傍ら、父親の農業の米作りや野菜作り(スナップエンドウやグリーンピースなどの豆類、アンボ柿など)を手伝っています。家庭菜園でもいろいろ野菜を作っていますが、種をまいて芽が出るのが一番楽しみです、食べるより作る喜びを求めています。

また、今年の3月まで堰本小学校PTA会長を担っていました。堰本小学校児童数は80人で、年々減少傾向にあります。子どもが5年生の時に副会長、翌年には会長を引き受け、児童、保護者、教師の方々との触れ合いはもとより、地域の方々ともお付き合いすることも出来て、楽しく過ごせた2年間でした。会長という役職の大変さはあっても、地域の中で深いつながりが出来て、充実した日々を送らせてもらいました。

かわいいカブトムシの幼虫を飼育するところ!



**新型コロナウィルス感染防止対策を！**

堰本地区交流館の施設利用にあたり以下の注意をお願いします。

- ①三密を避ける。(収容可能人数を少なく)
- ②マスクの着用
- ③入館時の手の消毒と使用後の机・椅子の消毒など

●一人ひとりの心がけが大切です。

**推進協議会組織体制**

広報委員会	
委員長	本多 祐一
佐藤利夫(藤橋)	
事務局次長	事務局員
里づくり 女性部会	
部会長	原田みよ子
副部会長	菅野かづ江
渡辺 晴子(上原)	菅野いね子(鹿ノ子)
小賀坂トク(中沢)	渡辺ふみ子(間野)
小賀坂幸子(東木田)	菅野かづ江(中ノ内)
佐藤 富枝(藤橋)	原田みよ子(大正寺)
船山 智春(屋敷通)	高橋 幹子(荒野)
高橋 裕子(道林)	桃井 節子(原)
穴戸恵美子(入ノ内)	佐藤 久子(浅間)
秋葉 有美(大門)	

監事	堀江 克成
	菅野源太郎
顧問	原田 建夫
	橘 典雄
	小賀坂伸夫
渡辺 政幸	
津田 茂	

生涯学習部会	
部会長	末永 明
いきいきカレッジ	菅野 幸子
女性セミナー	佐藤恵津子
佐々木賢一(屋敷通)	菅野源太郎(鹿ノ子)
小賀坂ひとみ(道林)	佐藤るみ(陽光台)

**地域安全・健康福祉部会** 部会長 菅野吉副会長  
 ★事業：地域の安全と健康を守るための推進事業  
 ★具体的事業：せきもと交流サロン、防災訓練(9月)、敬老会(社協と協議)、堰本防災マップ(全戸に配布済み)、女性防火クラブ



**広報委員会**  
 広報委員長 本多祐一

★事業：広報紙「里づくり せきもと」の発行事業  
 ★具体的事業：季刊発行(年4回)

**生涯学習部会** 部会長 末永明副会長 (補佐：菅野幸子事務局員)  
 担当 菅野幸子(事務局員)  
 = 「堰本いきいきカレッジ」担当  
 佐藤恵津子(鈴竹町内会)  
 = 「堰本女性セミナー」担当  
 ★事業：生涯学習に関する事業  
 ★具体的事業：堰本いきいきカレッジ(10回予定)、堰本女性セミナー(10回予定)、健康料理教室(3回予定)、写真教室(2回予定)



**堰本いきいきカレッジ**

**開校式と太極拳体験**

今年度から年齢、性別を問わない、学習意欲のある人々大歓迎の「堰本いきいきカレッジ」がスタートしました。

第1回目は6月23日に当交流館において開催し、20人が参加しました。渋谷会長・末永生涯学習部会長のあいさつの後、伊達市人材バンクからの派遣で、メンバーの仲間でもある菅野吉さんが指導にあたりました。

立っても座ってもできる『太極拳ゆったり体操』を学びました。この体操は介護予防に役立ち、バランス機能の向上に効果があるそうです。



講師の菅野吉さん

椅子に軽く腰をかけたメンバーは、新型コロナウイルス予防対策に十分間隔を取り、手をあげたり足を伸ばしたり、力を入れたり抜いたり、日頃の運動不足を実感しながらも、合間には自前の水分をとり、熱心に体を動かしました。「うやー腰に効くね」とか「これは肩こりにいいね」などと言いつつながらもゆったりではあるけれど十分な筋トレになった太極拳体験でした。

**ふるさと学習・堰本の歴史①開催**

梅雨晴れの7月21日、堰本郷土史研究会(吉田勝重会長)のご協力のもと「堰本の歴史探訪」を開催しました。

参加者たちは、交流館駐車場に集合し、末永生涯学習部会長、吉田会長のあいさつ後、郷土史研究会メンバーの車に分乗し総勢28名で出発しました。初めに、『大関笠石観世音』を見学し、吉田会長から説明をしていただきました。

次に明治9年に開校した『大関小学校跡地』の記念碑を仰ぎ見て、予定外の茅原稲荷神社へ、さらに通称『太門の観音様』(子安観音)を廻り、新田小学校跡地から洞雲寺へ、観音堂の前では住職様と婦人部の方々のご詠歌を拝聴し、本堂で絵の由来などお聞きしました。最後は細谷寺へ。ここでも住職様にお寺の沿革などを丁寧に説明いただきました。

参加者からは「近くでも知らなかった」、「堰本にも素晴らしい歴史があることがわかった。」などの声が聞かれました。

洞雲寺住職様の観音堂の説明

大関笠石観世音の説明



次回の歴史探訪は、11月17日の予定です。

**交流館の玄関に上り台を寄贈**

堰本婦人会(菅野吉会長・3月末で解散)から、交流館玄関の下足入れ入口の上り台を寄贈いただきました。玄関での密を避けるためにも有効かと思われまます。

堰本婦人会は永年にわたり、女性の交流の場として、また地域の各種活動の協力等々、幅広く地域のために尽力いただきました。長い間の活動、本当にお疲れ様でした。



**防火水槽の塗装修繕作業を継続実施**

令和2年度も元年度に引き続き地区内の防火水槽の塗装修繕作業を実施しました。今回は、中ノ内地区と東木田地区の塗装を地元の方の自主施工で行いました。

